

佐賀県高度情報化推進協議会 創立 30 周年記念誌

佐賀県高度情報化推進協議会 30 年の歩み

目 次

| | | |
|--|-----|----|
| 1 佐賀県高度情報化推進協議会の沿革 | ・・・ | 1 |
| 2 佐賀県高度情報化推進協議会の 30 年の歩み | ・・・ | 4 |
| 3 創立 30 周年記念事業開催報告 | ・・・ | 36 |
| 4 寄稿 | | |
| (1) 情報技術の発展とその功罪 佐賀県高度情報化推進協議会会長 藤原 久嗣 | ・・・ | 38 |
| (2) 佐賀県高度情報化推進協議会 創立 30 周年に寄せて 佐賀県知事 <small>やまぐち よしのり</small> 山口 祥義 | ・・・ | 40 |
| (3) 高情協 30 周年に寄せて キャリアシフト株式会社代表取締役 森本 登志男 | ・・・ | 42 |
| (4) 高情協 30 周年に寄せて 西村 龍一郎 | ・・・ | 44 |
| (5) 高情協の設立 30 周年に寄せて 地方公共団体情報システム機構 志波 幸男 | ・・・ | 45 |

1 佐賀県高度情報化推進協議会の沿革

| | |
|-------|---|
| (年度) | |
| 平成元年 | 会則の制定(10月26日) 設立総会(11月29日) 情報化講演会、研修会、情報化交流会、自治体連絡会などの事業を開始 |
| 平成2年 | 「全国ニューメディア祭プレシンポジウム」を開催 「さが地域情報化展」を開催(佐賀市) |
| 平成3年 | 「全国ニューメディア祭」(武雄市をメイン会場に伊万里市、佐賀市で開催) 「さが地域情報化展」を開催(武雄市) |
| 平成4年 | 先進地視察を実施し、先進的な自治体や様々な情報センター、地域情報化フォーラムなどを視察(平成17年度まで継続) 「さが地域情報化展」を開催(唐津市) テーマ別研修会を開催(平成12年まで継続) |
| 平成7年 | ソフトコンテストを実施(平成15年度まで継続)。CG、アプリケーション、ホームページの3部門を一般、小・中学校・高校・大学・専門学校に分けて公募し表彰 会員の事業に対する支援補助を実施(平成18年度まで継続) |
| 平成8年 | 教育研究専門部会、インターネット研究部会、ビジネスリサーチ部会を設置(平成18年度まで継続) |
| 平成15年 | ホームページをリニューアル(機関誌を廃刊) |
| 平成16年 | 総会(6月11日)で佐賀県高度情報化推進協議会規約の一部を改正し、各種委員をなくし、幹事会をより実務的に位置付けた。 チャレンジPC講座(シニアのためのパソコン講座)を開催 |
| 平成18年 | 協議会の在り方を検討(協議会に検討部会を設置:平成19年度総会まで) IT初心者サポート事業(平成19年1月~H20年3月まで実施) |
| 平成19年 | 総会(2月15日)で幹事会設置・運営規程を施行 プロジェクト支援補助制度を創設 ITキャラバン隊『豊かなネットワーク社会』をテーマに開催 ブロードバンド加入向上キャンペーンを実施(『ブロードバンド王国・佐賀づくり |

2008』「ようきんしゃった！さが」キャンペーン)

- 平成 20 年 総会(5月30日)で佐賀県高度情報化推進協議会規約、幹事会設置・運営規程の一部を改正し、幹事を15名以内から20名以内へ改めるとともに、グループの区分を見直した。
ブロードバンド加入向上事業(ブロードバンド体験フェアなど)を実施
創立20周年事業(功労者表彰式・記念講演会)を実施
- 平成 21 年 佐賀県ICT利活用促進セミナー『がばい楽しか情報化生活』を県北部、東部、西部の3会場で開催
(財)ハイパーネットワーク社会研究所主催の『情報モラル啓発セミナー』を高情協情報化講演会と位置づけて開催に協力
- 平成 22 年 ICT普及促進事業(「情報化フェア」,「情報化セミナー」等)を創設
高情協シンボルマーク・ロゴタイプの制定(デザインは、佐賀市在住のデザイナー永石繁信氏に依頼)
高情協ニュースレターの創刊
地上デジタル放送への移行促進に向けて、地デジ県民サポートセンターによる地デジ相談コーナーを設置
- 平成 23 年 総会(5月26日)で佐賀県高度情報化推進協議会規約、幹事会設置・運営規程の一部を改正し、幹事を25名以内へ改めるとともに、総会の審議事項等を定めることとした。
facebookページの開設
- 平成 24 年 シニアICT利活用推進プロジェクトチームの設置
- 平成 25 年 「高情協あり方検討プロジェクトチーム」の設置
企画運営グループ及び広報グループの設置
- 平成 26 年 総会(5月28日)で佐賀県高度情報化推進協議会規約、幹事会設置・運営規程の一部を改正し、新たに「中期推進項目」を設定することとした。
「ネットの安全・安心ポスターコンクール」に実行委員として参画(現在まで継続。平成28年度に「ネットの安全・安心けいはつコンクール」と改称)
- 平成 27 年 総会(5月19日)で佐賀県高度情報化推進協議会規約、幹事会設置・運営規程の一部を改正し、幹事を25名程度に改めることとした。
新ホームページ公開(会員専用ページの設置)
ICT利活用促進検討事業 準備検討プロジェクトチームの結成(平成28年度にICT利活用促進実証事業(買い物)に改称)

「情報化セミナー」を「はじめてのスマホ・タブレット講座」に改称

- 平成 28 年 T w i t t e r の運用開始
 ネットの安全・安心けいはつコンクール受賞作品を活用した情報モラル啓発イベントを開催
- 平成 29 年 「高情協あり方検討プロジェクトチーム」の設置
 電子決済の普及・啓発事業を創設
- 平成 30 年 創立 30 周年記念事業（式典、功労者表彰式、記念講演会、K O J O K Y O I C
 T フェア等）を実施
 佐賀大学大学祭においてキャッシュレス決済の実施（大学祭では全国初の L I N
 E P a y 導入）

2 佐賀県高度情報化推進協議会の30年の歩み

| 年度 | 期日 | 内容 |
|------|--------|--|
| 平成元年 | 10月26日 | 佐賀県高度情報化推進協議会規約を制定 |
| | 11月29日 | 設立総会を開催（増田会館） 記念講演会『地域における情報化社会の創造を目指して』 講師：自治省大臣官房情報管理官 神林 章元 （株）ニューメディア代表取締役社長 天野 昭 総会后、第1回交流会を実施 |
| | 2月23日 | シンポジウム及び情報化交流会を開催（ニューオータニ佐賀） |
| | 3月26日 | 佐賀市と共催でセミナー及び自治体連絡会を開催（佐嘉神社記念館） 佐賀市地域情報化セミナー 『地域における情報メディアの活用について - 映像系のメディアに世路地域情報化の推進について -』 講師：（財）ニューメディア開発協会 開発本部情報ソフトウェア部長 大野 三郎 自治体連絡会 『地方公共団体における地域情報化の推進に関する指針』 『地域情報化の取り組み紹介』（伊万里市・武雄市） 『平成2年度県情報化主要施策について』 |
| 平成2年 | 9月7日 | 自治体連絡会を開催（佐嘉神社記念館） 『郵政省の地域情報化施策』 講師：郵政省九州電気通信監理局電気通信部長 本田 廣忠 |
| | 9月17日 | 研修会を開催（佐嘉神社記念館） 『大和紡績跡地利用基本構想策定調査報告』 講師：佐賀県企画局地域振興課長 鬼崎 昭宣 |
| | 10月16日 | 研修会を開催（佐嘉神社記念館） 『テレトピア九州セミナー』 講師：九州東海大学学長 松山 公一 他 |
| | 2月25日 | 「佐賀地域情報化フォーラム」を開催（はがくれ荘） 基調講演 『日本における高度情報化の展望とニューメディアの活用』 講師：日本テレソフト代表取締役社長 金子 秀明 事例紹介『ローカルキャプテンの活用』 キャプテン端末展示・実演 |
| | 3月20日 | 「全国ニューメディア祭プレシンポジウム」を開催（武雄センチュリーホテル） 基調講演『情報政策の必要性』 |

| | | |
|------|---------------------------------------|--|
| | | <p>講師：郵政省テレトピア推進室長 中田 睦 九州電気通信監理局長 影山 秀彦</p> <p>発表『先進開催地からのメッセージ』</p> <p>講師：大垣市市長室企画広報主幹 土屋 三千男</p> <p>発表者：武雄市市長公室次長 井上 一夫 伊万里市テレトピア推進室 深浦 弘 佐賀市企画課 池田 剛</p> <p>パネルディスカッション 『県内の地域情報化への取り組み』</p> <p>コーディネーター：(財)電気通信高度化協会 業務部長 木村 紀征</p> <p>パネラー：武雄テレビ専務取締役 原 隆司 伊万里情報センター代表取締役常務 内野 番 県情報システム課課長補佐 徳淵 康憲</p> <p>講演『佐賀県におけるニューメディア祭のあり方』</p> <p>情報化交流会</p> |
| 平成3年 | 7月30日 | <p>自治体連絡会を開催(佐賀県庁)</p> <p>講演『郵政省の地域情報化施策』</p> <p>講師：郵政省九州電気通信監理局電気通信部長 本田 廣忠</p> <p>見学：県庁防災行政通信ネットワーク施設、電子計算機室</p> <p>県内市町村の事例発表(ケーブルテレビ、オフトーク通信等)</p> |
| | 9月18日 | <p>シンポジウムを開催(マリトピア)</p> <p>『福岡一極集中と佐賀経済の発展』</p> <p>基調講演：『福岡一極集中と佐賀経済』</p> <p>講師：(財)九州経済調査協会調査研究部次長 坂口 光一</p> <p>特別講演：『福岡一極集中と地域戦略 - 情報基本権の確立と地域情報政策』</p> <p>講師：(株)ニューメディア代表取締役社長 天野 昭</p> <p>パネルディスカッション：『ネットワーク形成と地域戦略福岡一極集中と佐賀経済の発展』</p> |
| | 10月31日 ～11月2日 (地域情報化展 は3日まで) | <p>「全国ニューメディア祭‘91佐賀大会」を開催(10/31武雄市文化会館をメイン会場に、11/1、2武雄市、佐賀市、伊万里市で分科会を開催)</p> <p>主催：全国ニューメディア祭実行委員会(郵政省、佐賀県等で構成)</p> <p>テーマ：「ニューメディアによる地域文化の発展と創造」</p> <p>(1)メインイベント「地域情報化サミット」(武雄市文化会館)</p> <p>基調講演 郵政事務次官 中村 泰三</p> <p>特別講演 作曲家 三枝 成彰</p> |

| | | |
|------|-------|--|
| | | <p>県内4CATV局によるリレー中継 県内首長(武雄市、伊万里市、佐賀市、浜玉町、西有田町) による取組発表 この模様を通信衛星で全国に生中継。全国各地の自治体や 大学、企業などから約1,600人が参加</p> <p>(2)分科会 「地方の時代のまちづくりと地域情報化フォーラム」 (武雄市文化会館) 「マルチメディア時代のケーブルテレビ戦略フォーラム」 (武雄市文化会館) 「女性・いきいき・ケーブルテレビフォーラム」 (武雄センチュリーホテル) 「本格情報化時代のキャプテン戦略フォーラム」 (武雄温泉ハイツ) 「ハイビジョンフォーラム」(佐嘉神社記念館) 「テレメータVAN事業化フォーラム」 (佐賀厚生年金休暇センター) 「農業情報システムフォーラム」 (佐賀厚生年金休暇センター) 「さが地域情報化展」を開催(武雄市白岩体育館)</p> |
| | 2月19日 | <p>VANセミナーを開催(はがくれ荘) 『中小企業と地域流通VAN』 講師:大阪商工会議所経営情報センター課長 福嶋 健彦 『佐賀県内のVANの現状』 講師:(株)佐賀電算センター取締役OA事業部長 浅川 達夫</p> |
| 平成4年 | 5月18日 | <p>総会、講演会及び交流会を開催(佐嘉神社記念館) 講演会『21世紀への情報技術の展望』 講師:技術評論家 森谷 正規</p> |
| | 7月30日 | <p>自治体研修会を開催(はがくれ荘) 『通商産業省の情報化施策について』 講師:九州通商産業局機械情報業課長補佐 村上 直美 『郵政省の情報化政策について』 講師:九州電気通信監理局電気通信振興課長 梅原 忠夫 『自治省の情報化政策について』 講師:自治大臣官房情報管理官室理事官 磯貝 一男 『オフトーク通信の取り組みについて』 講師:武雄市農業協同組合若木支所 渡辺 浩人 『ケーブルテレビ整備の取り組みについて』 講師:相知町企画情報課商工観光係長 副島 至誠</p> |

| | | |
|------|---------------|--|
| | | <p>『ファームバイキングシステムの取り組みについて』 講師：鹿島市企画情報電算係長 打上 俊男</p> <p>『NTT九州支社による緊急通信システム、オフトーク通信の実演等』 講師：NTT九州支社</p> |
| | 1月29日 | <p>テーマ別研修会を開催（メートプラザ佐賀） （印刷業）『今、印刷業界は変わっている』 講師：佐賀県工業技術センター特別研究員 釜堀 文孝</p> |
| | 2月27日 | <p>（印刷業）『コンピューター利用の実際と将来』 講師：（株）ライフデザインプロジェクト代表取締役 宮地 純一</p> |
| | 2月18日 ～19日 | <p>先進地視察を実施 大分県ソフトパーク、大山役場ケーブルテレビを視察</p> |
| 平成5年 | 5月11日 | <p>総会、情報講演会を開催（佐嘉神社記念館） 講演会『情報創造力の向上と地域振興』 講師：法政大学経営部教授 清成 忠男</p> |
| | 2月4日 | <p>自治体連絡会を開催（若楠会館） ビデオ版『平成5年度通信に関する現状報告』放映 『体験発表』 講師：（株）ジムコ専務取締役 中村 壽孝 農業経営者 桑元 孝昭 佐賀市企画課 池田 剛 『パネルディスカッション』</p> |
| | 2月8日 ～9日 | <p>先進地視察を実施 北九州国際会議場、（株）ケーブルステーション北九州、ニューメディアプラザ山口、KDD山口衛星通信所</p> |
| | 2月17日 | <p>テーマ別研修会を開催 （ケーブルテレビ）『これからのケーブルテレビを考える』 講師：日本ルーテル神学大学文学部教授 清原 慶子</p> |
| | 2月18日 | <p>（情報通信）『新たな情報通信の活用と未来への展望』 講師：藤島 慎一郎</p> |
| | 1月28日 | <p>情報化交流会を開催 『地域情報発信～世界・炎の博覧会の開催に向けて』を開催 （佐賀東急イン） 講師：佐賀世界・炎の博覧会事務局総務課長 本山 藤康</p> |
| | 3月22日 | <p>『情報ハイウェイ時代の地域メディア』 講師：メディア探検家、（財）日本システム開発研究所情報社会研究室 金村 公一</p> |
| 平成6年 | 5月11日 | <p>総会、情報化講演会を開催（佐嘉神社記念館）</p> |

| | | |
|------|----------------|---|
| | | 講演会『新しい生活基盤としての地域情報インフラの役割』 講師：インフォメーションコーディネータ 杉井 鏡生 |
| | 6月20日 | 自治体連絡会を開催（はがくれ荘） 『地域情報化に関する調査研究会中間報告』 講師：九州電気通信監理局電気通信振興課長 吉野 元 『テレビジョン難視聴実態調査』 講師：佐賀県企画局情報システム課地域情報係長 藤田 秀政 |
| | 7月14日 | テーマ別研修会を開催 （テレトピア）『テレトピア構想指定地域会議』（若楠会館） 講師：伊万里市情報管理課 深浦係長 武雄市企画情報課 辻係長 佐賀市企画課 松尾事務史員 |
| | 8月25日 | （マルチメディア）『マルチメディアの最新状況と地域開発』 講師：（株）電通マルチメディア部長 田中 秀範 |
| | 11月14日 ～15日 | 先進地視察を実施 関西文化学術研究都市（新世代通信網協議会、（財）新世代通信網利用高度化協会、けいはんな株式会社など） |
| | 12月24日 | 情報化サロン（情報化交流会）を開催 『インターネットの現状と今後の活用方策』（はがくれ荘） 講師：佐賀大学理工学部教授 近藤 弘樹 |
| | 2月13日 | 『災害時における情報通信のあり方』（ニューオータニ佐賀） 講師：日本経済新聞社編集委員 中島 洋 |
| 平成7年 | | ソフトコンテストを実施 小・中・高・大・専・一般の区分で公募し、CGやアプリケーション部門で公募し、優秀者を表彰 会員の事業に対する助成支援（補助金）事業を実施 第3回パソコン通信祭（佐賀新聞社） 佐賀ハイビジョンシンポジウム（佐賀ハイビジョンシンポジウム実行委員会） 村づくり集会'96（富士町） インターネット体験教室（（有）IPC情報処理センター） 九州クロスロードウィーク'96（鳥栖市） |
| | 6月13日 | 総会及び講演会を開催（はがくれ荘） 講演会『マルチメディアについて』 講師：明治大学 法学部教授 西垣 通 |
| | 8月1日 | 情報化交流会を開催（佐賀東急イン） 講演『インターネットによる地域情報発信』 講師：東京大学大型計算機センター 教授 石田 晴久 |

| | | |
|------|-------------------|---|
| | 12月18日 | <p>情報化交流会を開催（はがくれ荘）</p> <p>講演『地域環境観測衛星情報について』</p> <p>講師：佐賀大学理工学部教授 新井 康平</p> |
| | 11月28日 ～29日 | <p>先進地視察を実施</p> <p>富山県総合情報センター、岐阜県博物館</p> |
| | 2月2日 | <p>自治体連絡会を開催（はがくれ荘）</p> <p>『九州における地域情報化について』</p> <p>講師：九州電気通信監理局電気通信振興課長 西上原 行雄</p> <p>『県情報化への取り組み』</p> <p>講師：佐賀県企画局情報システム課地域情報係主査 川原 浩秀</p> <p>『地域情報化への取り組み』</p> <p>(1)佐賀市立図書館概要について</p> <p>講師：佐賀市立図書館開設準備室主査 池田 剛</p> <p>(2)行政情報システム、防災情報システムについて</p> <p>講師：武雄市企画課課長補佐 中原 正敏</p> <p>(3)オフトーク通信について</p> <p>講師：江北町企画開発課課長補佐 古賀 則之</p> |
| | 8月1日 2月23日 | <p>テーマ別研修会を開催（佐賀東急イン）</p> <p>（インターネット）『インターネットによる地域情報発信』</p> <p>講師：東京大学大型計算機センター教授 石田 晴久</p> <p>（マルチメディア）『マルチメディアがもたらすもの』</p> <p>講師：日本経済新聞社データバンク局</p> |
| 平成8年 | | <p>研究部会として、教育専門部会、ビジネスリサーチ部会、インターネット研究会を設置し、部会・研究会活動を行う。</p> |
| | 5月15日 | <p>総会、講演会を佐嘉神社記念館で開催</p> <p>講演：『マルチメディア - この大変な時代』～インターネットで世の中は変わるか</p> <p>講師：江戸川大学社会学部教授 久保 悌二郎</p> |
| | 9月2日 | <p>情報化サロン・情報交換会を開催（はがくれ荘）</p> <p>講演『地域情報化と地域経済の発展』</p> <p>講師：九州東海大学教授 山中 守</p> |
| | 1月16日 | <p>講演『インターネット社会と地域の情報化』</p> <p>講師：九州産業大学教授 渡辺 榮</p> |
| | 10月24日 ～25日 | <p>先進地視察を実施</p> <p>上田市マルチメディア情報センター（長野県）マルチメディア研究センター</p> |
| | 12月24日 | <p>インターネット研究部会事業としてインターネット体験講座を開催（NTT神野ビル）</p> |

| | |
|---------------------|---|
| <p>2月4・5・19・26日</p> | <p>『インターネット操作方法（概要）について』 講師：NTT（株）佐賀支店 インターネット管理技術者講習会を開催（佐賀市立図書館） 講師：新井 康平、江藤 博文</p> |
| <p>2月2日</p> | <p>自治体連絡会を開催（はがくれ荘） (1) 『郵政省における地域情報化施策について』 講師：九州電気通信監理局電気通信振興課長 西上原 行雄 (2) 『県の地域情報化への取り組み』 講師：佐賀県企画局情報システム課主事 松本 健一 (3) 『地域情報化への取り組み』 テレトピア構想を活用した地域情報化について 講師：伊万里市情報管理課情報係長 深浦 弘信 ケーブルテレビによる地域情報化について 講師：富士町企画課有線テレビ係長 岩松 直幸 インターネットによる地域情報化について 講師：嬉野町企画課企画係 井上 慎司</p> |
| <p>2月8日</p> | <p>教育研究専門部会を開催（アバンセ） シンポジウム『インターネット教育利用の推進』 講師：佐賀県教育センター 大島 正豊 パネルディスカッション パネラー：佐賀大学理工学部教授 近藤 弘樹 杵島商業高等学校教諭 大河内 弘紀 有明町立有明中学校教諭 川崎 健二 佐賀県教育センター 宮山 健 （株）佐賀新聞社 平 有治 飯盛教材（株） 飯盛 義徳</p> |
| <p>2月8日</p> | <p>ビジネスリサーチ部会を開催（佐賀市立図書館） 『メーカーにおけるインターネットの利用及び今後の動向等について』 コーディネーター（株）ジムコ代表取締役 中村 壽孝</p> |
| <p>2月21日</p> | <p>テーマ別研修会を開催（佐嘉神社記念館） 『地域が元気になるための情報産業化戦略』 講師：報道ネットワーク京都代表 筑地 達郎</p> |
| | <p>会員の事業に補助 学生・生徒のためのパソコン体験セミナー （佐賀コンピューター専門学校） マルチメディア講演会（唐津国際情報都市推進協議会） インターネット教育利用研修会 （武雄テレトピア推進協議会）</p> |

| | | |
|-------|---------------|--|
| | | インターネット体験研教室((有)IPC情報処理センター) インターネット研修会(鹿島市) ハイビジョンシステム説明会(佐賀市) |
| 平成9年 | 5月21日 | 総会、講演会を開催(佐嘉神社記念館) 講演『高度情報化社会におけるデジタル・コンテンツビジネス』 講師:メディア教育開発センター助教授 浜野 保樹 |
| | 12月18日 | 情報化交流会を開催(佐賀東急イン) 講演『インターネット社会と地域の情報化』 講師:東海大学福岡短期大学教授 三木 容彦 |
| | 1月20日 | テーマ別研修会を開催(佐嘉神社記念館) 『「行政情報化の現状と課題」~国・地方を通じる行政情報化の 新局面を迎えて~』 講師:(社)行政情報システム研究所理事長 百崎 英 |
| | 1月24日 | 教育研究専門部会を開催(若楠会館) 『インターネット教育の研究発表会』 司会:佐賀県教育センター 大島 正豊 発表者:厳木小学校教諭 渡辺 顕 鳥栖市立鳥栖小学校教諭 岡嶋 智子 玄海町立玄海小学校教諭 丹野 到 神埼清明高等学校教諭 宮本 理香 佐賀県教育センター 初井 宏文 (株)武雄テレビ 待鳥 晶子 |
| | 2月19日 ~20日 | 先進地視察の実施 ソフトピアジャパン(岐阜県大垣市) 京都リサーチパーク(京 都市) |
| | 3月17日 | ビジネスリサーチ部会を開催(佐賀東急イン、はがくれ荘) 『電子マネーについて』(佐賀東急イン) 講師:佐賀信用金庫事務部副調査役 吉岡 清典 『デジタル認証技術について』(はがくれ荘) 講師:(財)九州システム情報技術研究所次長 森光 武則 |
| | 助成支援(補助 金) | ケーブルテレビ番組作成者研修会(佐賀県ケーブルテレビ協議 会) インターネット交流パーティ(佐賀県中小企業中央会) 第5回パソコン通信祭(佐賀県パソコン通信連絡協議会) インターネットを使った電子商取引入門講座(佐賀市他) 印刷パワーアップセミナー(佐賀県印刷工業組合) |
| 平成10年 | 6月8日 | 総会、講演会を開催(佐嘉神社記念館) 講演『地域社会とネットワーク・コミュニティ』 講師:アジアネットワーク研究所代表 会津 泉 |

| | | |
|-------|----------------|---|
| | 9月14日 | <p>自治体連絡会を開催（佐賀県庁大会議室）</p> <p>『郵政省における地域情報化施策について』</p> <p>講師：九州電気通信監理局電気通信課企画管理官 植木 賢二</p> <p>『通産省における地域情報化施策について』</p> <p>講師：九州通商業局情報政策課課長補佐 副島 治</p> <p>『県の地域情報化推進計画について』</p> <p>講師：佐賀県企画交通局情報システム課地域情報係長 小川 修</p> |
| | 10月18日 ～19日 | <p>先進地視察を実施</p> <p>兵庫県庁フェニックス防災システム（神戸市） 五色町在宅保健医療福祉支援システム（兵庫県五色町）</p> |
| | 1月23日 | <p>教育研究専門部会を開催（佐賀市立図書館）</p> <p>『情報と教育のシンポジウム』</p> <p>「学校は変わる - インターネットと総合的な学習」</p> <p>基調報告者：神埼清明高等学校教諭 大島 正豊</p> <p>実践報告者：佐賀市立成章中学校教諭 野北 弘</p> <p> 玄海町立有浦中学校教諭 丹野 到</p> <p> 佐賀大学附属中学校教諭 陣内 陽子</p> <p> 佐賀市立城西中学校教諭 草場 聡宏</p> <p>自由討論コメンテーター：佐賀大学工学部教授 近藤 弘樹</p> <p> 佐賀市立成章中学校教諭 野北 弘</p> <p> 佐賀市立城西中学校教諭 草場 聡宏</p> <p> 飯盛教材（株） 飯盛 義徳</p> |
| | 3月19日 | <p>テーマ別研修会を開催（佐嘉神社記念館）</p> <p>『最近の行政情報化の動向と課題について』</p> <p>～国・地方を通じる行政情報化の新局面を迎えて～</p> <p>講師：（財）地方自治情報センター情報調査部次長 新野 巖</p> |
| | 助成支援 （補助金） | <p>第6回パソコン通信祭（佐賀県パソコン通信連絡協議会）</p> <p>地域情報化講演会（唐津国際情報都市推進協議会）</p> <p>佐賀県CATV協議会技術部会勉強会（佐賀県ケーブルテレビ協議会）</p> <p>ワープロ及びパソコン研修会（（有）IPC情報処理センター）</p> |
| 平成11年 | 6月11日 | <p>総会、情報講演会を開催（佐嘉神社記念館）</p> <p>『情報社会の光と影』</p> <p>講師：工学博士（元愛知工業大学教授） 本告 光男</p> |
| | 7月14日 | <p>ビジネスリサーチ部会を開催（NTT神野ビル）</p> <p>インターネットに関する講習会（ホームページ作成に関する基礎講座）を開催</p> |

| | | |
|-------|----------------|--|
| | 10月5日 | <p>自治体連絡会を開催（佐賀県庁）</p> <p>郵政省における地域情報化施策について 講師：九州電気通信監理局電気通信振興課企画管理官 城哲士</p> <p>通産省における地域情報化施策について 講師：九州通産業局情報政策課課長補佐 松本 善登</p> <p>唐津市文書管理システムについて 講師：唐津市総務部総務課文書係長 竹内 御木夫</p> |
| | 11月11日 ～12日 | <p>先進地視察を実施</p> <p>「全国マルチメディア祭'99 in しまね」(地域情報化サミット、地域情報化フェア、松江フォーラム)</p> |
| | 1月22日 | <p>教育研究専門部会を開催（佐賀市立図書館）</p> <p>情報と教育のシンポジウム</p> <p>『インターネットに生きる子供たち～5ネチケットとガイドライン～』</p> <p>実践報告：川副町立南川副小学校事務長 御厨 孝弘 佐賀市立城西中学校教諭 草場 聡宏 玄海町立有浦中学校教諭 丹野 到 佐賀県立神埼清明高等学校教諭 大島 正豊 佐賀大学文化教育学部教授 角 和博 佐賀県教育センター研究員 山下 利秀</p> <p>自由討論 司会：佐賀大学理工学部教授 近藤 弘樹</p> |
| | 3月27日 | <p>テーマ別研修会を開催（佐嘉陣社記念館）</p> <p>『ネットワーク社会における行政運営～地方自治体情報化の課題と展望』</p> <p>講師：明星大学人文学部教授 大橋 在弘</p> |
| | 3月30日 | <p>情報交流会を開催（アバンセ）</p> <p>『インターネット利活用事業（高齢者介護ネットワークシステム実験事業）中間報告会』</p> <p>講師：県地域・情報課、西日本電信電話（株）佐賀支店、（株）佐賀電算センター、佐銀コンピュータサービス（株）、光仁会西田病院グループ、伊万里市健康増進課</p> |
| | 助成支援（補助金） | <p>第7回パソコン通信祭（佐賀県インターネット連絡協議会）</p> <p>佐賀県CATV協議会技術部勉強会（佐賀県ケーブルテレビ協議会）</p> <p>地域情報化展（唐津情報都市推進協議会）</p> <p>佐賀ハイビジョンシンポジウム（佐賀市）</p> |
| 平成12年 | 5月19日 | <p>総会及び自治体研修会を開催（佐嘉神社記念館）</p> <p>郵政省における地域情報化施策について</p> |

| | | |
|--------------|--|--|
| | | <p>講師：九州電気通信監理局電気通信振興課企画管理官 城哲士、九州郵政局佐賀県本部本部長代理 榊原 浩</p> <p>通産省における地域情報化施策について</p> <p>講師：九州通産業局情報政策課情報推進係長 砂入 成章</p> |
| 6月11日 | | <p>情報講演会を開催（ニューオータニ佐賀）</p> <p>『インターネットビジネスの最新動向』</p> <p>講師：(株)イツ代表取締役 久保田 達也</p> |
| 8月3日 3月5日 | | <p>ビジネスリサーチ事業の実施</p> <p>『ホームページ作成（基礎編）』（佐賀県地域産業支援センター）</p> <p>『ホームページ作成（応用編）』（佐賀電算センター）</p> |
| 10月20日 | | <p>自治体連絡会を開催（はがくれ荘）</p> <p>郵政省における地域情報化施策について</p> <p>講師：九州電気通信監理局電気通信振興課企画管理官 城哲士</p> <p>通産省における地域情報化施策について</p> <p>講師：九州通産業局情報政策課情報推進係長 砂入 成章</p> <p>先進地事例『佐賀市における行政情報化の推進について』</p> <p>講師：佐賀市情報政策課管理係長 大坪 博文</p> <p>県事例紹介『佐賀県における行政情報化の推進について』</p> <p>講師：佐賀県地域・情報課主査 土井 広文</p> |
| 11月3日 ～5日 | | <p>先進地視察を実施</p> <p>「全国マルチメディア祭'2000 in みえ（地域情報化サミット、地域情報化フォーラム）」</p> |
| 11月19日 | | <p>インターネット研究部会を開催（佐賀大学）</p> <p>IT講習会2000（ホームページ作成教室）</p> |
| 12月14日 | | <p>佐賀県教育委員会主催「情報と教育シンポジウム」を教育研究専門部会の共催で開催（佐賀市文化会館）</p> <p>『学び合う実践共同体とIT革命』</p> <p>基調報告：神埼清明高等学校教諭 大島 正豊</p> <p>基調講演：マサチューセッツ工科大学教授 宮川 繁</p> <p>パネルディスカッション</p> <p>コーディネーター：慶應大学教授 丹野 眞智俊</p> <p>パネラー：青山大学教授 佐伯 胖</p> <p>鳴門教育大学教授 木村 捨雄</p> <p>（有）ジェイスタッフ代表 石丸 純子</p> <p>コメンテーター：多摩美術大学教授 石田 晴久</p> |
| 1月9日 | | <p>テーマ別研修会を開催</p> <p>『地方自治体を取り巻く情報化社会について』（はがくれ荘）</p> <p>講師：神戸市外国語大学助教授 芝 勝徳</p> |

| | | |
|---------|-----------------|--|
| | 3月2日 | 『インターネットデータセンターとブロードバンド』(県庁) 講師:(株)日本インターネットデータセンター代表取締役 岩下 安男 |
| 平成 13 年 | 5月21日 | 総会・自治体連絡会を開催(佐嘉神社記念館) 総務省の地域情報化施策について 講師:九州総合通信局通信振興課総務事務官 田原 正吾 九州郵政局佐賀本部本部長代理 田尻 和宣 農林水産省の地域情報化施策について 講師:九州農政局構造改善課課長補佐 清水 和明 経済産業省の地域情報化施策について 講師:九州通産局情報施策課情報推進係長 砂入 成章 |
| | 6月11日 | 情報化講演会を開催(はがくれ荘)(情報通信月間参加) 『IT革命と電子行政~行政のデジタル化とネットワーク経済』 講師:東京大学社会情報研究所教授 須藤 修 |
| | 8月23日 ~1月24日 | IT研修会を開催(佐賀電算センター) HTML基礎、HTML応用、Word2000基礎、Excel2000基礎・Excel2000応用、PowerPoint基礎 |
| | 10月20日 | 自治体連絡会を開催(はがくれ荘) 総務省の地域情報化施策について 講師:九州総合通信局通信振興課総務事務官 河野 義弘 経済産業省の地域情報化施策について 講師:九州通産局情報施策課情報推進係長 猪俣 裕明 L G W A Nの概要について 講師:(財)地方自治情報センター主任研究員 木嶋 淳 |
| | 11月7日 ~9日 | 先進地視察を実施 N E C 電子政府デモスペース、(株)日本ネットワークサービス(甲府市、ケーブルテレビ)「全国マルチメディア祭'2001 in やまなし」、藤沢市電子自治体パイロット事業 |
| | 1月15日 | ビジネスリサーチ部会を開催(はがくれ荘) 『ブロードバンド時代の電子行政とデジタルアーカイブ』 講師:(株)ニューメディア 月刊ニューメディア編集長 吉井 勇 『公文書の全社共有システムについて』 講師:株式会社浅沼組 情報システム課長 佐々木 勇一 |
| | 1月26日 | 情報教育推進シンポジウム(主催:IT教育技術開発研究所)が佐賀大学で開催 『第1回教育カンファレンス~教育へのIT利活用』セミナー |

| | | |
|-------|-----------------|--|
| | | <p>講師：多久工業高等学校教諭 山下 利秀 事例紹介者：多久市立北部小学校教諭 石田 俊二 肥前町立値賀中学校教諭 丹野 到 有田工業高等学校教諭 中村 隆敏 佐賀大学文化教育学部教授 角 和博</p> |
| | 2月13日 | <p>情報交流会を開催（はがくれ荘） 『ブロードバンド社会とE-ビジネスの今後について』 講師：NTT理事 岡田 和比古 『佐賀ビジネスマッチングプレイスの取り組みについて』 講師：ネットコムさが推進協議会事務局長 西村 龍一郎 『バーチャルモールSAGA特選街について』 講師：佐賀商工会議所連合会 楠田 敏昭</p> |
| | 3月9日 | <p>インターネット研究部会で体験講座開催（佐賀大学） 『UNIX体験講座』 講師：新井 康平、寺山 康教、江藤 博文、小嶋 一生</p> |
| | 助成支援（補助金） | <p>IT教育技術開発研究会、特別講演会『e-Japan』 （佐賀大学） 光ケーブルネットワークに関する技術研修会 （佐賀県ケーブル協議会） 第2回自治体財務会計担当者研修 （佐銀コンピュータサービス（株）） 自治体向けLAN構築及びグループウェア導入研修会 （佐賀電算センター（株））</p> |
| 平成14年 | 5月22日 | <p>総会及び自治体連絡会を開催（佐嘉神社記念館） 総務省の地域情報化施策について 講師：九州総合通信局通信振興課企画管理官 河野 義弘 農林水産省の地域情報化施策について 講師：九州農政局構造改善課課長補佐 清水 和明 経済産業省の地域情報化施策について 講師：九州通産局情報施策課情報推進係長 猪俣 裕明</p> |
| | 6月11日 | <p>情報化講演会を開催（はがくれ荘）（情報通信月間参加行事） 『放送のデジタル化と地域メディア』 講師：（株）衛星メディア局企画開発部長 千田 利史</p> |
| | 7月22日 | <p>インターネット研究部会を開催（佐賀大学） 『秋田県情報化とIX事業プロジェクト』講師 林 英輔</p> |
| | 9月24日 ～2月21日 | <p>研修会を開催（佐賀電算センター） ネットワーク入門、LAN実習、情報セキュリティ、 HTML基礎、HTML応用、Excel2000応用、 PowerPoint2000</p> |

| | |
|---------------|--|
| 10月28日 | <p>自治体連絡会を開催（勤労者福祉会館）</p> <p>総務省の地域情報化施策について 講師：九州総合通信局通信振興課企画管理官 河野 義弘</p> <p>放送のデジタル化について 講師：九州総合通信放送課企画管理官 茶屋道 清文</p> <p>農林水産省の地域情報化施策について 講師：九州農政局構造改善課課長補佐 清水 和明</p> <p>経済産業省の地域情報化施策について 講師：九州通産業施策課情報推進係長 猪俣 裕明</p> |
| 1月30日 ～31日 | <p>先進地視察を実施</p> <p>（株）東海デジタルネットワークセンター（愛知県豊田市、ケーブルテレビ）、浜松商工会議所</p> |
| 2月18日 | <p>ビジネスリサーチ部会を開催（はがくれ荘）</p> <p>『地域ブランディングと産業振興 ～地域デジタルアーカイブの構築と情報発信力』 講師：（株）ニューメディア代表取締役 天野 昭</p> <p>『携帯電話市場の動向と基地局基盤確保業務の効率』 講師：（株）NTTドコモ東北ネットワーク部基盤推進室渉外担当部長 阿部 秋彦</p> |
| 3月15日 | <p>インターネット研究部会を開催（佐賀大学）</p> <p>『UNIXネットワーク入門講座の開催』 講師：新井 康平、寺山 康教、江藤 博文（以上佐賀大学）</p> |
| 3月18日 | <p>情報化交流会を開催（はがくれ荘）</p> <p>『佐賀発・ITビジネスの元気起業』 （パネルディスカッション）</p> <p>パネラー：（株）ケントップ代表取締役 津村 賢治 （株）佐賀広告センター企画製作部 野副 昭彦 （有）ジェイスタッフ代表取締役社長 石丸 純子</p> <p>コーディネーター：情報化交流委員長 冬野 審一</p> |
| 助成支援（補助金） | <p>パソコン・インターネット体験コーナー（大町町）</p> <p>第3回自治体財務会計担当者研修会 （佐銀コンピュータサービス（株））</p> <p>佐賀県ケーブル協議会技術部会研修会 （佐賀県ケーブル協議会）</p> <p>情報通信展示体験ゾーン（唐津情報都市推進協議会）</p> |
| 平成15年 | <p>ホームページをリニューアル（機関誌の廃刊）</p> |
| 5月26日 | <p>情報化交流会、パネルディスカッションを開催（佐嘉神社記念館）</p> <p>『佐賀県の情報化の現状と今後の展開』</p> |

| | |
|-------------------|---|
| | <p>パネラー：(株)デジタルコミュニケーションズ 西村 龍一郎 唐津市情報政策課 山岡 裕明 県企画部地域・情報課情報企画監 水田 響 コーディネーター：佐賀大学工学部教授 新井 康平</p> |
| 6月10日 | <p>講演会を開催(はがくれ荘)(情報通信月間参加行事) 『ブロードバンドで地域は再生できるか<あらゆるものにトレイサビリティシステムを>』 講師：経済ジャーナリスト国際大学(グローコム)教授 日経BP社編集委員 中島 洋</p> |
| 10月16日 ~11月20日 | <p>IT研修会を開催(佐賀電算センター) ネットワーク入門、LAN実習、情報セキュリティ、ホームページビルダー基礎・応用、PowerPoint2002(1)(2)、HTML応用、Excel2002活用、デジタルコンテンツ(動画)作成</p> |
| 10月30日 | <p>自治体連絡会を開催(勤労者福祉会館) 総務省の地域情報施策について 講師：九州総合通信情報通信振興課企画管理官 千住 智之 信書便事業について 講師：九州総合通信局放送課信書便管理官 桜庭 修 武雄市の情報施策について 講師：武雄市総務課情報管理室 末藤 彰彦 県内ブロードバンド状況について 講師：佐賀県企画部地域・情報課地域情報推進係長 中村 文彦</p> |
| 11月6日 ~7日 | <p>先進地視察を実施 「全国マルチメディア祭'inみやざき」、山間地の無線インターネットの状況(西米良村)</p> |
| 2月3日 | <p>教育研究専門部会、ビジネスリサーチ部会共催でインターネットシンポジウムを開催(はがくれ荘) 『教育コンテンツのデジタル化・共有化公開実験“知恵の輪プロジェクト”~科学技術へのIDCと大容量・高速DBの利用~』 基調講演『IDCの世界』 基調提案『科学技術教育へのIDCと高速DBの利用に対する提案』 パネルディスカッション 講師：NTTコミュニケーションズ佐賀(株) 武藤 弘和 (株)ジムコ 中村 正豊 パネラー：佐賀市立昭栄中学校教諭 下山田 隆</p> |

| | |
|-------------------|--|
| | <p>大町町立大島小学校教諭 小川 美樹 (有)ジェイピック 石丸 純子 NTTコミュニケーションズ佐賀(株) 鈴木 実 コーディネーター:佐賀大学客員教授 大島 正豊</p> |
| 3月13日 | <p>インターネット研究部会を開催(佐賀大学) 『UNIXセキュリティ講座』(佐賀大学科学技術共同開発センターとの共催、後援:佐賀大学) 講師:新井 康平、只木 進一、芳沢 聡(以上佐賀大学)</p> |
| 助成支援(補助金) | <p>ITセミナー「IT活用と電子入札」(佐賀商工会議所) 自治体フェア2003年「自治体大合併」と「電子自治体」を成功させるために((株)佐賀県電算センター) 情報通信展示体験ゾーン(唐津市情報都市推進協議会)</p> |
| 平成16年 | <p>協議会規約を一部改正し、各種委員会をなくし幹事会をより実務的に位置付けるなど組織の見直しを行う。また、事業の見直し、情報化講演会、情報化交流事業(情報化交流会は講演会後に実施する)、先進地視察、IT研修、インターネット研究部会、年間テーマ実践事業を実施することとなる。 シニアのためのパソコン講座(チャレンジPC講座)は、の事業の一環として実施することとし、支援補助金は継続して実施することとなった。</p> |
| 6月11日 | <p>講演会、情報化交流会を開催(増田会館) 講演:『産業創出のためのITとユビキタス』 講師:慶應大学環境情報学部教授 武藤 佳恭</p> |
| 10月21日 | <p>講演会、情報化交流会を開催(増田会館) 講演:『佐賀県の現状』 講師:県情報・業務改革課長 迎 出 講演:『テレビが変わる、デジタルに変わる』 講師:総務省九州総合通信局放送部長 黒葛原 栄彦 講演:『デジタルテレビと電子自治体サービスの提供について』 講師:松下電器産業(株)eネット事業本部e-japan 担当部長 峯岸 稔治</p> |
| 12月20日 ~21日 | <p>先進地視察を実施 (財)ハイパーネットワーク社会研究所(大分市)、大分県杵築市役所、独立行政法人情報通信研究機構(北九州IT研究支援センター、北九州JGM リサーチセンター)</p> |
| 10月26日 ~11月22日 | <p>研修会を開催(佐賀電算センター) Excel使えるビジネス活用、PowerPoint2002、Word使えるビジネス活用、Excelマクロ/VBA、L</p> |

| | | |
|-------|-------------------|---|
| | | A N基礎実習、ホームページビルダーを研修 |
| | 3月19日 | インターネット研究部会を開催（佐賀大学） 『セキュリティ・ネット犯罪対策講座』（後援：佐賀大学科学技術共同開発センター） 講師：新井 康平、寺山 康教、江藤 博文（以上佐賀大学） |
| | 3月22日 | ビジネスリサーチ部会、教育専門部会共催で『知恵の輪プロジェクト』を開催 テーマ『デジタルコンテンツと知識創造』 『やさしい知識科学』 講師：(国)北陸先端科学技術大学院大学 知識科学研究科教授 中森 義輝 『日本アニメーションの今』 講師：(株)マツハウス 増田 弘道 『ディスカバー大町のデジタルアーカイブ』 講師：大町町小学校教諭 古川 美樹 |
| | 助成支援（補助金） | 高齢者のためのパソコン教室（有田町） 講演会（有）ジェイスタッフ パソコン教室（芦刈町教育委員会） 高齢者パソコン公開講座（佐賀コンピューター専門学校） |
| 平成17年 | 5月31日 | 講演会、情報化交流会を開催（増田会館パル21） 講演『IT革命と地域の将来』 講師：広島県立大学情報科学部教授 大場 充 |
| | 10月28日 | 講演会、情報化交流会を開催（増田会館パル21） 講演『近未来のプロードバンド』 講師：(株)NTTデータユビキタス推進室長 山本 修一郎 |
| | 10月24日 ～11月24日 | IT研修会を開催（佐賀電算センター） Excel2003 関数実践、PowerPoint2003、ホームページビルダーV8、WordsXPを利用したLAN実習、Access2003 基礎、Excel2003 マクロ/VBA |
| | 11月24日 ～11月25日 | 先進地視察を実施 『市民メディアとして、村民テレビと連携して地域の情報化推進』（熊本県山江村役場） 『市民の情報交流サイトとして、地域ポータルサイト「ごろっとやっちゃろ」の運用』（熊本県八代市役所） 『無線LANをしようとしたBB環境整備』（阿蘇市阿蘇テレワークセンター） |
| | 12月14日 | ビジネスリサーチ部会、教育専門部会の共催で『インターネットセキュリティシンポジウム』を開催（はがくれ荘） 事例報告 |

| | | |
|---------|---------------------------|--|
| | | <p>講師：佐賀県警生活安全課 藤井 信吾 パネルディスカッション 『IDCを活用した教育カルテの実証実験について』 パネラー：(株)佐賀IDC 森木 武 (株)ジムコ 中村 壽孝 コーディネーター： 厳木高等学校教諭 大島 正豊</p> |
| | 2月6日 | <p>講演会、情報化交流会を開催（はがくれ荘） 『近未来の魅力あるデジタルコンテンツ』 - 九州大学の先導的 デジタルコンテンツ創生への取り組みについて - 講師：九州大学院工学研究院教授 源田 悦夫</p> |
| | 3月18日 | <p>インターネット研究部会行事を佐賀大学で実施する 『セキュリティ・ネット犯罪対策講座』(後援：佐賀大学科学技 術共同開発センター) 講師：新井 康平、寺山 康教、江藤 博文（以上佐賀大学）</p> |
| | 助成支援（補助金） | <p>教育実践及び実践テレビによりシンポジウム（有田町、九州総 合通信局） パソコン教室（東与賀町） 教職員対象パソコン公開講座（佐賀コンピューター専門学校） インターネット安全教室（大町町）</p> |
| 平成 18 年 | 6月9日 | <p>総会、講演会及び情報化交流会を開催（増田会館パル 21）(情 報通信月間参加事業) 演題『tvkのデータ放送の取り組みと展望』 講師：テレビ神奈川（tvk）編集局 モバイル・データ放送部副部長 鈴木 邦彦 演題『岐阜県における地上デジタル放送の行政利用』 講師：岐阜県総合企画部情報企画課地域情報化担当技術主査 郷 恭彦</p> |
| | 10月20日 | <p>講演会、情報課交流会を開催（はがくれ荘） 演題『インターネットの向こうに - Web 2.0への道を振り 返る』 講師：エイジング代表取締役社長 長野 宏宣</p> |
| | 10月25日 ～11月8日 (6日間) | <p>IT研修会を開催（佐賀電算センター） PowerPoint2003、Excel2003 関数実践、ホーム ページビルダーV8、JavaScript基礎、Access 2003 基礎、Excel2003 マクロ/VBA</p> |
| | 1月10日 ～3月31日 | <p>ITサポート事業を実施 唐津コンピューター専門学校に委託</p> |
| | 12月15日 | <p>ビジネスリサーチ部会を開催（はがくれ荘） 報告『インターネットセキュリティの動向と提言』</p> |

| | | |
|-------|-------------|---|
| | | <p>講師：佐賀大学教授 新井 康平（パネラー） 報告『教育分野における実験事業の中間報告』 講師：厳木高等学校教諭 大島正豊（パネラー） 基調講演『佐賀県のIT政策』 講師：佐賀県CIO 川島 宏一（パネラー） 講演『ユビキタス時代の商品戦略』 講師：(株)アイ・オー・データ機器代表取締役社長 細野 昭雄（パネラー） 講演『ユビキタス時代のブロードバンド』 講師：NTT西日本ビジネスパートナー 武藤 弘和（パネラー） パネルディスカッション『ユビキタス社会におけるビジネスチャンス』 パネラー：(株)ジムコ代表取締役 中村 壽孝 他5名</p> |
| | 3月18日 | <p>インターネット研究部会を開催（佐賀大学） 『インターネットセキュリティ講座』（後援：佐賀大学科学技術共同開発センター） 講師：新井 康平、寺山 康教、江藤 博文（以上佐賀大学）</p> |
| | 助成支援（補助金） | <p>皆で選ぶ「焼き物と私」携帯フォトコンテスト （有田町、九州総合通信局） 教職員対象パソコン講座（佐賀コンピューター専門学校） セキュリティセミナー～バイオ認証体験フェア （佐賀電算センター） パソコン教室（東与賀町）</p> |
| 平成19年 | 5月28日 | <p>総会、情報化講演会及び情報化交流会を開催（はがくれ荘） 講演『無線を活用したブロードバンド整備の新戦法』 講師：総務省総合通信基盤局電波基幹通信課長 斎藤 一雅 演題『地域通信事業者におけるWiMAX導入手法』 講師：ビーム計画設計 地域情報化システム統括課長 福森 重純</p> |
| | 6月1日 ～2日 | <p>IT経営キャラバン隊を開催（佐賀市立図書館） テーマ『豊かなネットワーク社会』をテーマに講演・セミナー、チームUによる「有田陶器市情報戦略事業」や佐賀大学による「モバイル（携帯）を利用したゲーム」などを紹介 『ネット社会に対応する新たなビジネススタイル』 講師：IT経営キャラバン隊 白水 公康 『インターネットから見える地域活性化のポイント』 講師：高光産業（株）代表取締役社長 妹尾 八郎 『「IT経営のススメ」～戦略的経営情報化の推進～』</p> |

| | |
|-----------------|--|
| | <p>講師：無限責任中間法人ユビキタスサガ副代表 古山田 恭高</p> <p>『「インターネット安全教室」～小学生と保護者～』</p> <p>『ICTが拓く元気な地域』</p> <p>講師：NPO法人ブロードバンドスクール協会理事 森本 登喜雄</p> <p>『ケータイ市民記者による「佐賀総体」モバチュウ～私の目で見て私の言葉で感動を伝える～』</p> <p>講師：NPO法人STAND副理事長 伊藤 数子</p> <p>『地域SNSがもたらす地域活性化への可能性』</p> <p>講師：八代市企画振興部情報推進課主任 小林 隆生</p> |
| 8月～2月 | <p>『チャレンジPC講座』を開催（佐賀市、江北町）</p> <p>シニア層を対象にパソコンの基礎から電子メール、インターネットの利活用講座を佐賀市、以外でも開催した。</p> <p>（5回はアバンセ、1回は江北町での開催し6講座を実施）</p> |
| 10月31日 | <p>情報化講演会及び情報化交流会を開催（マリトピア）</p> <p>『「情報化と電子自治体」～その仮題と解決策～』</p> <p>講師：サイバー大学IT総合学部教授 前川 徹</p> <p>『「インターネットが変わる」韓国の事例～』</p> <p>講師：佐賀県情報・業務改革課情報企画監 廉 宗淳</p> |
| 4月1日～平成20年3月31日 | <p>IT初心者サポート事業を実施</p> <p>電話相談窓口「パソコンなんでも電話相談室」を設置し、パソコンやインターネットの導入・利活用に対しての不安点や疑問点の相談事業を実施。</p> |
| 3月20日～4月20日 | <p>「ブロードバンド王国・佐賀づくり2008」事業を実施（ブロードバンド加入率向上事業）</p> <p>『よーきんしゃた！佐賀』キャンペーンとして、CATV会社や通信事業者の方々と連携して佐賀県独自のキャンペーンを行った。</p> |
| 平成20年 | <p>5月30日</p> <p>総会、講演会を開催（はがくれ荘）</p> <p>(1)協議会規約の一部改正、それに伴う幹事会設置・運営規程の改正を行う。</p> <p>(2)講演会</p> <p>平成19年度プロジェクト事業の報告会</p> <p>『地域SNSと動画配信による有田陶器市情報戦略』『高校総体情報発信事業Uプロジェクト』（チームU）</p> <p>『唐津市高度情報通信産業人材育成特別講座補助事業』</p> <p>（唐津情報都市推進協議会）</p> <p>基調報告：『くらしの豊かさを実感できる「さがICTビジ</p> |

| | | |
|-----------------|--|---|
| | | <p>ヨン 2008』』</p> <p>講師：佐賀県統括本部情報・業務改革課長 志波 幸男 基調講演『国民の視点に立った先進的な電子社会の実現に向けて』</p> <p>講師：日本経済団体連動産業第二グループ長 上田 正尚 パネルディスカッション『さがICTビジョンを考える』</p> <p>コーディネーター： 佐賀県CIO 川島 宏一</p> <p>パネリスト： （財）佐賀県地域産業支援センター理事長 吉野 正彦 （株）佐賀新聞社クロスメディア推進室長 福田 伸裕 NPO法人市民活動サポートセンター 石橋 裕子 佐賀県教育センター情報課長 内山 隆文</p> |
| 6月14日 | | <p>ブロードバンド体験フェアを開催（アイスクエアビル）</p> <p>シニアネット佐賀や kodomo2.0 などのNPO法人の協力を得て、ブロードバンド加入向上事業の一つとして子供から高齢者までを対象に体験フェアを実施。</p> |
| 3月24日 ～7月25日 | | <p>プロジェクト事業補助金交付申請の1次公募・採択</p> <p>『モバイル中継及び Podcasting 配信を用いた高大連携による有田陶器市の動画配信事業』（佐賀大学）</p> <p>『みまもる安心ケーブルネット基盤整備事業』（唐津ケーブルテレビジョン）を採択</p> |
| 7月～2月 | | <p>チャレンジPC講座を開催</p> <p>シニアを対象に、佐賀市、江北町、神崎市、唐津市で計6講座を実施</p> |
| 9月1日 ～23日 | | <p>プロジェクト事業補助金交付申請の2次公募・採択</p> <p>『第3回地域SNS全国フォーラムin佐賀』（佐賀新聞社）</p> |
| 2月3日 | | <p>協議会創立20周年記念事業を開催（グランデはがくれ）</p> <p>(1)功労者表彰式</p> <p>佐賀県知事表彰</p> <p>個人の部 近藤 弘樹（佐賀大学名誉教授、佐賀大学高等教育開発センター特任教授、NPO 法人シニアネット佐賀理事長）</p> <p>団体の部 佐賀県ケーブルテレビ協議会（会長 原 隆司 （株）ケーブルワン代表取締役社長）</p> <p>佐賀県高度情報化推進協議会長表彰</p> <p>個人の部 西村 龍一郎（株デジタルコミュニケーションズ佐賀代表取締役、NPO 法人 NetCom さが副理事長兼事務局長）</p> <p>団体の部 (株)佐賀新聞社</p> |

| | | |
|---------|------------------------|--|
| | | <p>(2)20周年記念講演会</p> <p>講演：「ICTがひらく近未来のライフスタイルについて」 講師：マイクロソフト株式会社 代表執行役社長 樋口 泰行</p> <p>講演：「地域情報プラットフォームを活用したシステム改善」 講師：総務省情報流通行政局地方情報化推進室長 青山 忠幸</p> |
| 平成 21 年 | 5 月 29 日 | <p>総会・情報化講演会を開催（マリトピア）</p> <p>「電子自治体の現状と将来展望」 講師：総務省自治行政局地域政策課地域情報政策室長 井上 知義</p> <p>「佐賀のITに求められるユニバーサルデザインの視点」 ～スローなユビキタスライフを目指して～ 講師：株式会社ユーディット代表取締役 関根 千佳</p> |
| | 5 月 22 日 ～11 月 20 日 | <p>佐賀県ICT利活用促進セミナー「がばい楽しか情報化生活」 唐津、鳥栖、鹿島で開催</p> |
| | 11 月 27 日 | <p>第2回講演会を開催</p> <p>（財）ハイパーネットワーク社会研究所主催の『情報モラル啓発セミナー』を高情協第2回情報化講演会と位置づけて開催に協力した。</p> <p>ビデオプレゼンテーション「実践・情報モラル」 ～あなたの会社は大丈夫？～人権に配慮した個人情報の取り扱い 講師：ハイパーネットワーク社会研究所 杉井 鏡生、渡辺 律子</p> <p>「インターネット社会と人権」 講師：牧野総合法律事務所 牧野 二郎</p> <p>「情報漏洩を防ぐ情報セキュリティ対策のあり方」 講師：独立行政法人情報処理推進機構（IPA） 加賀谷 伸一郎</p> <p>パネル討論：「いまなぜ情報モラルなのか」 講師：牧野 二郎、加賀谷 伸一郎、杉井 鏡生 モデレーター：会津 泉</p> |
| | 6 月 20 日 | <p>ブロードバンド体験フェア 大町町総合福祉保健センター 美郷（みさと）</p> |
| | 3 月 18 日 | <p>佐賀県・マイクロソフト株式会社地域活性化協働プログラム成果報告会（グランデはがくれ） 協働プログラムの概要・成果の説明（川島最高情報統括監）</p> |

| | | |
|-------|-----------|---|
| | | <p>あいさつ（古川知事）</p> <p>感謝状贈呈・プログラム修了証書授与</p> <p>プログラム修了者による成果報告（シニア代表・CSO代表）</p> <p>講演1 マイクロソフト株式会社執行役常務 大井川 和彦</p> <p>講演2 NPO 法人シニアSOHO普及サロン三鷹 山根 明</p> <p>「情報通信機器の発展」をコンセプトにした「ICTの今～未来展」を同時開催。企業6団体、シニアICT2団体より出展</p> |
| | 助成支援（補助金） | <p>小規模な初心者向けインターネット講習会の開催（NPO法人シニアネット佐賀）</p> <p>ワンセグを使った地域イベント支援システム（サガテレビ）</p> |
| 平成22年 | 5月26日 | <p>総会、情報化講演会を開催（マリトピア）</p> <p>「クラウド・コンピューティングの最新情勢」</p> <p>講師：慶應義塾大学政策・メディア研究科特別招聘教授 青山友紀</p> |
| | 4月28日 | <p>情報化講演会を開催（マリトピア）</p> <p>「ICTによる地域の活性化について」</p> <p>講師：総務省情報流通行政局地域通信振興課長 奈良 俊哉</p> |
| | 6月26日～27日 | <p>「情報通信体験フェア in 太良」(太良町 道の駅「太良」 ゆたたり館)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○インターネット教室 ○携帯電話教室 ○e-ラーニング講座 ○ブース展示（高情協会員による出展 2ブース） ○地デジ相談コーナー（地デジ県民サポートセンター） |
| | 8月28日～29日 | <p>「ICT利活用講座 in みやき」(みやき町北茂安公民館)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○インターネット教室 ○携帯電話教室 ○ブース展示（高情協会員による出展 2ブース） |
| | 11月6日 | <p>「情報化フェア in 武雄」(武雄市文化会館、武雄温泉ハイツ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○インターネット教室 ○携帯電話教室 ○インターネット安全講座 ○スマートフォンセミナー ～タッチ&トライ～ ○ブース展示(主として高情協会員による出展 計10ブース) ○地デジ相談コーナー（地デジ県民サポートセンター） ○シニアICT団体研修 <p>情報化講演会を開催（武雄市文化会館、武雄温泉ハイツ）</p> <p>「なるほど！日本一わかりやすいICTのお話」</p> |

| | | |
|-------|----------------|--|
| | | 講師：ICT能力開発協会理事 青山 司 |
| | 1月22日 ~23日 | 「情報化セミナー in 小城」(小城市三日月町保健福祉センター 「ゆめりあ」,「おぎ元気館」) ○インターネット教室 ○携帯電話教室 ○スマートフォンセミナー ~タッチ&トライ~ ○インターネットを利用した納税・申告講座 ○びっくり!3D自作講座 ○サイバー犯罪防止劇「防ごう!サイバー犯罪」上演 ○ブース展示(主として高情協会員による出展 計6ブース) |
| 平成23年 | 5月26日 | 総会、情報化講演会を開催(マリトピア) 「ICTによる安全・安心な社会のデザインについて -CloudとCrowdによる新しい社会の考え方-」 講師:中央大学総合政策学部教授 大橋 正和 |
| | 6月25日 | 「情報化セミナー in 神崎市」(千代田町保健センター) インターネット教室 テレビでインターネット教室 携帯電話教室 スマートフォンセミナー ソーシャルメディア活用術講座 ブース展示(高情協会員による出展 4ブース) |
| | 9月3日 | 「情報化セミナー in 伊万里」(伊万里市民センター) インターネット教室 テレビでインターネット教室 携帯電話教室 スマートフォンセミナー ソーシャルメディア活用術講座 ブース展示(高情協会員による出展 4ブース) |
| | 12月10日 ~11日 | 「情報化フェア in 唐津」(唐津市大手口センタービル、アルピ ノ) ○インターネット教室 ○スマートフォンセミナー ○iPad教室 ○ブース展示(高情協会員による出展 5ブース) ○情報化展(アルピノにおいて高情協会員による出展5ブース) 情報化講演会を開催(唐津大手口センタービル) 「詳しく教えます!ソーシャルメディア活用術」 講師:株式会社ローカルメディアラボ代表取締役 牛島 清豪 |
| | 3月10日 | 「情報化セミナー in 諸富」(佐賀市諸富町公民館) |

| | | |
|---------|----------|---|
| | | <ul style="list-style-type: none"> ○インターネット教室 ○スマートフォンセミナー ○i P a d教室 ○f a c e b o o k講座 ○ブース展示（高情協会員による出展 4ブース） |
| 平成 24 年 | 5 月 31 日 | <p>総会及び情報化講演会を開催（マリトピア） 「地域間連携、異業種連携で生み出す新時代の価値 - 連携基盤として注目されるクラウドシステムとソーシャルメディア -」 講師：ナレッジネットワーク株式会社代表取締役 森戸 裕一 対談：森戸 裕一 氏と森本 登志男 会長（佐賀県最高情報統括監）</p> |
| | 6 月 30 日 | <p>情報化セミナー in 鳥栖（鳥栖市民文化会館） ○インターネット教室 ○i P a d教室 ○スマートフォンセミナー ○f a c e b o o k講座</p> |
| | 7 月 30 日 | <p>ICT支援交流会（マリトピア） 「エヴァンジェリストが厳選したi P h o n e ・ i P a d国内最新導入事例のご紹介」 講師：ソフトバンクモバイル（株）シニアエヴァンジェリスト 中山 五輪男 意見交換会</p> |
| | 10 月 6 日 | <p>情報化セミナー in 白石（白石町総合センター） インターネット教室 ○i P a d教室 ○スマートフォンセミナー ○らくらくスマートフォンセミナー ○f a c e b o o k講座</p> |
| | 12 月 9 日 | <p>情報化展 in 唐津（アルピノホール） 高情協会員によるブース展示、機器体験会</p> |
| | 2 月 9 日 | <p>情報化セミナー in 多久（多久市東多久公民館） ○インターネット教室 ○i P a d教室 ○スマートフォンセミナー ○らくらくスマートフォンセミナー ○f a c e b o o k講座</p> |
| | 3 月 13 日 | <p>情報化講演会を開催（佐賀市文化会館） 「B E ソーシャル！ - 急加速するソーシャルシフト。</p> |

| | | |
|---------|--------|--|
| | | 世界最先端の事例に学ぶ、新しい経営のカタチ - 」 講師：株式会社ループス・コミュニケーションズ代表取締役社長 斉藤 徹 |
| | 3月20日 | 情報化展 in 富士町（嘉瀬川ダム管理支所前広場） 高情協会員によるブース展示、機器体験会 |
| 平成 25 年 | 5月28日 | 総会、情報化講演会を開催（マリトピア） 「ビッグデータの現状と今後の展望 ～日本企業にとってのビジネス機会と課題～」 講師：野村総合研究所イノベーション事業開発部上級研究員 城田 真琴 対談 城田 真琴 氏と森本 登志男 会長（佐賀県最高情報 統括監） |
| | 6月29日 | 情報化セミナー in 大和（ウェルネス大和） ○インターネット教室（参加者 18名 / 定員20名） ○iPad教室（参加者〔午前〕15名 / 定員15名 〔午後〕14名 / 定員16名） ○スマートフォンセミナー （参加者〔午前〕17名 / 定員20名 〔午後〕19名 / 定員20名） ○Facebook講座（参加者 21名 / 定員20名） |
| | 9月28日 | 情報化セミナー in 唐津（唐津りふれ） インターネット講座 for iPad （参加者 13名 / 定員20名） ○iPad講座（参加者〔午前〕16名 / 定員16名 〔午後〕11名 / 定員16名） ○スマートフォンセミナー （参加者 18名 / 定員20名） ○らくらくスマートフォンセミナー （参加者 19名 / 定員20名） ○Facebook講座 for iPad （参加者 15名 / 定員20名） |
| | 10月28日 | ICT支援セミナー（マリトピア） 「地球上で最もお客様を大切にする企業を目指して ～アマゾンの視点から～」 講師：アマゾンジャパン株式会社渉外本部本部長 渡辺 弘美 対談 渡辺 弘美 氏と森本 登志男 会長（佐賀県最高情報 統括監） |
| | 11月30日 | 情報化セミナー in 千代田（千代田町保健センター、はんぎー ホール） |

| | | |
|-------|-------|--|
| | | <p>○インターネット講座 for iPad (参加者 20名/定員20名)</p> <p>○iPad講座 (参加者〔午前〕12名/定員16名 〔午後〕15名/定員16名)</p> <p>○スマートフォンセミナー (参加者 15名/定員20名)</p> <p>○らくらくスマートフォンセミナー (参加者 17名/定員20名)</p> <p>○Facebook講座 for iPad (参加者 9名/定員20名)</p> |
| | 3月8日 | <p>情報化セミナー in伊万里(伊万里市民センター)</p> <p>○インターネット講座 for iPad (参加者 12名/定員20名)</p> <p>○iPad活用講座 (参加者〔午前〕17名/定員16名 〔午後〕17名/定員16名)</p> <p>○スマートフォンセミナー (参加者 17名/定員20名)</p> <p>○らくらくスマートフォンセミナー (参加者 17名/定員20名)</p> <p>○Facebook講座 for iPad (参加者 11名/定員20名)</p> |
| 平成26年 | 5月28日 | <p>総会、ICTに関する講演会を開催(マリトピア) 「消費者が主役となるO2O新・消費革命 ～ネットとリアル店舗の融合の最前線～」 講師：ITアナリスト 松浦 由美子 対談 松浦 由美子 氏と森本 登志男 会長(佐賀県最高情報統括監) 意見交換 松浦氏をはじめ、商工関係者と行政計11名による意見交換</p> |
| | 6月28日 | <p>情報化セミナー in白石(白石町総合センター)</p> <p>インターネット講座 for iPad(16名)</p> <p>○iPad活用講座(午前19名、午後19名)</p> <p>○スマートフォンセミナー(午前18名、午後20名)</p> <p>○Facebook講座(17名)</p> |
| | 10月4日 | <p>情報化セミナー in基山(基山町民会館)</p> <p>○親子(孫)iPad講座(11名)</p> <p>○iPad活用講座(午前23名、午後22名)</p> <p>○iPhoneセミナー(午前18名、午後12名)</p> |

| | | |
|-------|--------|---|
| | | ○Facebook 講座 for iPad (15名) |
| | 1月21日 | ICTに関する講演会(グランデはがくれ) 「シェアから広がる共創 ~特定地域から世界へ~」 講師:(株)インフォバーン代表取締役 Co-CEO 小林 弘人 対談 小林 弘人 氏と森本 登志男 会長(佐賀県最高情報統括監) |
| | 3月7日 | 情報化セミナー in 多久(多久市まちづくり交流センター「あいぱれっと」) ○親子(孫) iPad 講座(10名) ○iPad活用講座(午前16名、午後27名) ○iPhoneセミナー(午前16名、午後20名) ○Facebook 講座 for iPad (20名) |
| 平成27年 | 5月19日 | 総会、ICTに関する講演会を開催(ニューオータニ佐賀) 「セキュリティ対策以前 ~脆弱性から情報漏洩まで 正しく知り、正しく怖がる第一歩~」 講師:ソフトバンク・テクノロジー(株)シニアセキュリティエバンジェリスト 辻 伸弘 対談 辻 伸弘 氏と森本 登志男 会長(佐賀県最高情報統括監) |
| | 7月18日 | はじめてのスマホ・タブレット講座 in みやき(佐賀県立三養基高等学校) ○らくらくスマートフォンセミナー ○iPad活用講座 ○安全に使うためのLINE 講座 ○Facebook 講座 for iPad |
| | 10月3日 | はじめてのスマホ・タブレット講座 in 武雄(武雄市文化会館) ○シニア向けスマートフォン講座 ○iPad活用講座 ○安全に使うためのLINE 講座 ○Facebook 講座 for iPad |
| | 11月14日 | iPad 初心者セミナー(赤松公民館) [午前]赤松文化まつり(赤松小学校)にて、調査研究チームが「ICT体験ブース」「ICT相談ブース」を設け、アンケートも実施 [午後]場所を赤松公民館に移して、事前登録者の他に「体験ブース」等でICT機器に関心を持たれた方を引き込み、iPadの初心者向け講座を実施 |
| | 11月18日 | ICTに関する講演会(グランデはがくれ) 「テレワークが拓く未来」 |

| | | |
|---------|-------|--|
| | | <p>講師：佐賀県最高情報統括監 森本 登志男 「人を活かすテレワーク～さがんみらいテレワークセンター鳥栖が目指すもの～」</p> <p>講師：(株)パソナテック執行役員 粟生 万琴 対談 森本 登志男 氏、粟生 万琴 氏、田上 加那 氏 ((株)パソナテック職員) 及び福田 健治 氏 (クラウドワーカー)</p> |
| | 3月5日 | <p>はじめてのスマホ・タブレット講座 in 唐津 (唐津商工会館)</p> <p>○iPhoneセミナー ○iPad活用講座 ○安全に使うためのLINE講座 ○Facebook講座 for iPad</p> |
| | 3月15日 | <p>ICTに関する講演会 トークライブ テーマ:「イノベーションの5年間と佐賀の未来を語る」 トークゲスト: 森本 登志男 会長 (佐賀県最高情報統括監) インタビュアー: 鈴木 恵理香 氏 ((株)サガテレビアナウンサー)</p> |
| 平成 28 年 | 5月26日 | <p>総会、ICTに関する講演会を開催 (ホテルマリターレ創世佐賀)</p> <p>マイナンバー制度に関する説明: 「事業者における特定個人情報の漏えい事案等が発生した場合の対応について」 説明: 佐賀県情報・業務改革課 「私たちを取り巻く『サイバー』な出来事 ～忍び寄る影の実体と向き合うため～」 講師: ソフトバンク・テクノロジー (株) シニアセキュリティエバンジェリスト 辻 伸弘</p> |
| | 7月16日 | <p>はじめてのスマホ・タブレット講座 in 小城 (小城市まちなか市民交流プラザ「ゆめぷらっと小城」)</p> <p>らくらくスマートフォン講座 ○iPhoneセミナー ○iPad活用講座 ○安全に使うためのLINE講座 ○Facebook講座 (for iPad)</p> |
| | 9月17日 | <p>はじめてのスマホ・タブレット講座 in 鹿島 (鹿島市民交流プラザ「かたらい」)</p> <p>○iPhoneセミナー ○iPad活用講座</p> |

| | | |
|-------|---------------|--|
| | | <p>○安全に使うためのLINE講座</p> <p>○Facebook講座 (for iPad)</p> |
| | 11月24日 | <p>ICTに関する講演会(ホテルマリターレ創世佐賀)</p> <p>「Yahoo! JAPANにおける災害情報の取り組みとインターネットにおける情報発信の課題」</p> <p>講師: ヤフー株式会社Yahoo! 天気・災害サービスマネージャー 田中 真司</p> <p>「ICT×防災×市民参加」</p> <p>講師: 株式会社ローカルメディアアラボ代表取締役 牛島 清豪</p> <p>取組事例発表: 「県内の自治体・民間企業における災害時の情報発信取組事例」</p> <p>発表: ソフトバンク(株)、(株)ケーブルワン、佐賀県消防防災課</p> <p>対談 田中 真司 氏と牛島 清豪 氏</p> |
| | 2月1日 | <p>視察</p> <p>視察地 長崎県立大学シーボルト校</p> <p>内容: 「セキュリティ演習室」のご紹介</p> <p>説明: 長崎県立大学情報システム学部情報セキュリティ学科 教授 加藤 雅彦</p> <p>内容: ながさきICT戦略の策定について(官民協働クラウドの活用)</p> <p>説明: 長崎県総務部情報政策課課長 大庭 茂雄 氏</p> <p>視察地 扇精光ソリューションズ株式会社</p> <p>内容: 「長崎くんちナビ」と応用サービスについて</p> <p>説明: 扇精光ソリューションズ(株)システム開発部次長 山口 文春</p> |
| | 2月25日 ~26日 | <p>情報モラル啓発イベント開催(モラージュ佐賀)</p> <p>ネットの安全・安心けいはつコンクール受賞作品展示</p> <p>情報モラル啓発クイズ、アンケートの実施</p> <p>ICT相談窓口の開設</p> |
| 平成29年 | 5月23日 | <p>総会、ICTに関する講演会を開催(グランデはがくれ)</p> <p>「IoTの進展がもたらす近未来」</p> <p>講師: ドルフィア(株)代表取締役 井下田 久幸</p> <p>対談 井下田 久幸 氏と森本 貴彦 氏(佐賀新聞社編集局次長)</p> |
| | 7月3日、 12日 | <p>わくわくインターネットでお買い物体験 in セカンドハウス(小規模多機能型居宅介護「セカンドハウス」)</p> <p>iPad講座</p> <p>光BOX講座</p> |

| | | |
|-------|---------------|---|
| | | まいづるネットスーパー宅配便疑似体験 |
| | 12月9日 ～10日 | はじめてのスマホ・タブレット講座 in 神埼(千代田町保健センター、神崎市千代田文化会館「はんぎーホール」) らくらくスマートフォンセミナー i P a d活用講座 ・ 安全に使うためのL I N E講座 パソコン活用講座 ・ |
| | 11月21日 | 視察 視察地 アクロス福岡・円形ホール(福岡市中央区天神) 内容 2017「九州I C Tビジネスプラン発表会」 説明 I T・I C T利活用で地域や世の中を進化・課題解決できる「産業・技術・商品・サービス」の「アイデア・ビジネスプラン・ビジネスモデル」の発表会 |
| | 12月2日、 16日 | はじめてのスマホ・タブレット講座 in 伊万里(伊万里市民センター) らくらくスマートフォンセミナー ・ i P h o n eセミナー ・ i P a d活用講座 ・ 安全に使うためのL I N E講座 パソコン活用講座 ・ |
| | 2月8日 | I C Tに関する講演会(ロイヤルチェスター佐賀) 「佐賀発世界へ I C Tを利活用した地元企業オプティムの挑戦」 講師:(株)オプティム取締役 友廣 一雄 対談 友廣 一雄 氏と松前 進 副会長(佐賀大学教授) |
| | 2月24日 ～25日 | 情報モラル啓発イベント開催(ゆめタウン佐賀) ネットの安全・安心けいはつコンクール受賞作品展示 情報モラル啓発クイズ、アンケートの実施 I C T相談窓口の開設 |
| 平成30年 | 5月29日 | 総会、I C Tに関する講演会を開催(ホテルマリターレ創世佐賀) 「キャッシュレス社会の実現を目指して」 講師:三井住友カード(株)公共・金融法人営業部長兼地域振興室長 本屋敷 賢治 「第4次産業革命と九州地域産業の戦略」 講師:野村総合研究所主席研究員 藤野 直明 |
| | 6月23日、 30日 | はじめてのスマホ・タブレット講座 in 嬉野(嬉野市中央公民館) らくらくスマートフォン講座 ・ i P h o n e講座 ・ |

| | |
|----------------|---|
| | <p>i P a d 講座 ・ 安全に使うための L I N E 講座 パソコン講座 ・</p> |
| 10月16日 | <p>創立30周年記念事業を開催（グランデはがくれ） 記念式典 表彰 N P O 法人シニアネット佐賀 N P O 法人シニア情報生活アドバイザー佐賀 志波 幸男 氏 講演会 「佐賀県を離れて感じる佐賀県の先進性」 講師：前佐賀県 C I O 森本 登志男 K O J O K Y O I C T フェア（展示会）</p> |
| 10月20日 ～21日 | <p>佐賀大学大学祭におけるキャッシュレス導入（L I N E P a y）による実証実験 参加店舗数 24（全体の約半数） 決済方法 L I N E P a y（QRコード決済） L I N E P a y の大学祭導入は全国初</p> |
| 12月1日、 15日 | <p>はじめてのスマホ・タブレット講座 in 武雄（武雄市文化会館） らくらくスマートフォン講座 ・ i P h o n e 講座 ・ i P a d 講座 ・ 安全に使うための L I N E 講座 安全に使うためのネットショッピング講座 パソコン講座 ・</p> |
| 3月2日 ～3日 | <p>情報モラル啓発イベント開催（ゆめタウン佐賀） ネットの安全・安心けいはつコンクール受賞作品展示 情報モラル啓発クイズ、アンケートの実施 ネットトラブル相談窓口の開設</p> |

3 創立 30 周年記念事業開催報告

1 日時：平成 30 年（2018 年）10 月 16 日（火）

2 場所：ホテルグランデはがくれ

3 次第

< 2 階フラワーホール A・B >

司会：一ノ瀬 裕子 氏（フリーアナウンサー）

○記念式典（15:00～15:20） 参加者 108 人

- ・スライドショー：高情協この 10 年の軌跡
- ・挨拶：高情協会長 藤原 久嗣 氏
- ・祝辞：九州総合通信局長 森 孝 氏

○表彰（15:20～15:50） 参加者 108 人

- ・3 人（団体含む）：会員一覧表記載順
NPO 法人シニアネット佐賀
NPO 法人シニア情報生活アドバイザー佐賀
志波 幸男 氏
- ・表彰者によるスピーチ

- 休憩（10 分） -

○講演会（16:00～17:00） 参加者 131 人

- ・講師 森本 登志男 氏（前佐賀県 C I O）
- ・講演 演題：佐賀県を離れて感じる佐賀県の先進性

< 1 階ハーモニーホール >

○懇親会（17:30～19:00） 参加者 82 人

- ・冒頭：肥前さが幕末維新博覧会の P R 映像
- ・挨拶：山口祥義佐賀県知事
- ・乾杯：高情協副会長 大野 裕志 氏
- ・歓談
- ・「高情協この 10 年の軌跡」スライドショー上映（歓談中常時）
- ・閉会：高情協副会長 松前 進 氏



表彰



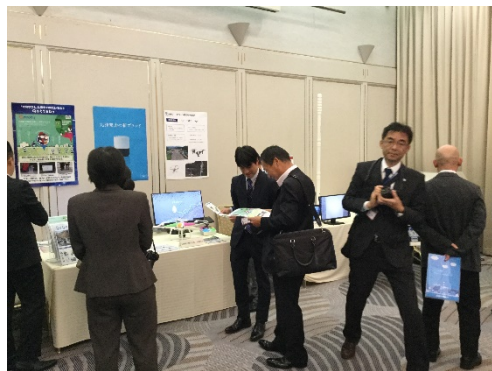
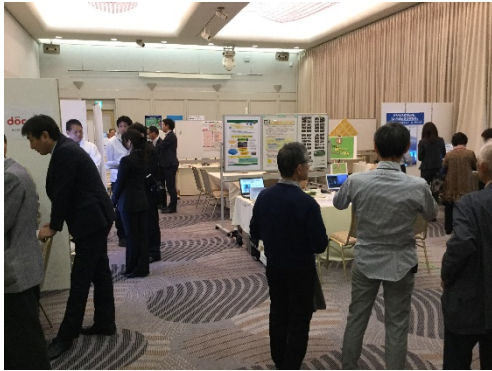
講演会



< 2階フラワーホールC及び廊下 >

○KOJOKYO ICTフェア(展示会)(13:00~17:00) 参加者138人

- ・各会員が取り扱うICT機器(IoT、システム等)の実演等
- ・機器、パンフレット等の展示
- ・出展企業・団体 17会員



4 寄稿

情報技術の発展とその功罪

佐賀県高度情報化推進協議会会長（佐賀県CIO） 藤原 久嗣

平成とともに誕生した佐賀県高度情報化推進協議会が30周年を迎え、事務運営にご尽力いただいた会員の皆様に感謝申し上げますとともに、心からお祝い申し上げます。

この30年の間に様々な情報技術が次々と普及し、世の中は大変便利な時代となりました。世界企業を見れば、ソフトウェア企業が圧倒的上位を占めるようになり、30年前とは大きく様変わりしていることからその進展の凄まじさがわかります。当協議会の設立当時は携帯電話、インターネット、電子マネーなどといったサービスはまだ普及しておらず、私たちの暮らしにおいては、これらを活用せずに仕事や生活をしていました。

平成初期には、今のような情報技術がなくても生活に大きな支障はありませんでしたが、今からその時代の生活には戻ることもできません。近年は、第4次産業革命の時代と言われるようになり、情報技術の進化は留まることを知らず、更なる進化を目指して日々革新し続けております。これらの技術革新は、生活を豊かにし、少子高齢化を迎える我が国においては必要な取組であると思います。

しかし、これらの情報技術の進展においては、様々な問題や課題も生じさせました。携帯電話の普及は、いつでも・どこにいても連絡が取れるようになりましたが、携帯依存症やSNS等を使った詐欺やいじめ等の課題も生まれました。インターネットの普及は、ネットで様々な情報を容易に取得できるようになり、パワーポイントを使った資料づくりでビジュアルも良い資料が容易に作成できるようになりました。しかし、現場主義が薄れがちになり、現場の声を聞く努力を避けネットから情報を取得し機に向かって資料作りに多くの時間を割くようになりました。また、ウィルス対策のための費用も膨大なものとなりました。

1人1台のパソコンが当たり前になり、メールを使って様々な会議開催通知や情報共有を多くの人に瞬時にできるようになり、メールを活用することで仕事に何本も電話が掛からなくなり、会議調整や紙での文書回覧といったこともなくなるなど飛躍的に仕事のスタイルが変わりました。

しかし、メール処理に時間を追われ、Face to Faceでの会話が少なくなり、職場内のコミュニケーションが希薄になる懸念も生じています。

今後も考えられなかったような技術が生まれていくかと思いますが、良し悪しをしっかりと見極めて進めていくことが重要であると感じています。また、情報技術の利用により、限られた資源を有効かつ効果的に活用し改革を進めていく必要があると考えます。改革はしばしば情報技術を活用すること自体が目的になってしまいがちになりますが、物事の本質を見極めるチカラを養う人材育成が重要になってきます。

企業においても、よく情報コストの投資を毎年数パーセント削減といった目標を立てることもありますが、数年もすれば乾いたタオルを絞るようになってしまいます。時には、発想を転換し、ゼロベースで物事を見る必要性もあるのではないかと思います。そのためには、思い切った改革を提案できる風土の醸成や教育が重要であると痛感しています。かつて、大手家電メーカーのト

ップが取引先からコストダウンを求められ部下が断ろうとしていた際、「3%のコスト削減は今までの延長線上で物事を考える。しかし3割削減であれば設計からやり直さなければならない。そうだとしたら、3割は無理ではない。やってみよう！」といて実現させたという有名なエピソードがあります。

平成から次の世代へと時代が移り変わる中で、産学官が互いに連携していくことで、個々の組織では実現できない課題についてチャレンジし、サステナブルな地域社会が実現することを心からお祈り申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

佐賀県高度情報化推進協議会の創立 30 周年にあたり、一言、お祝いの言葉を述べさせていただきます。

高度情報化と言えば、私が以前総務省にいたときには、ケーブルテレビを普及・促進していこうといった話や、自主制作番組であれば交付税を付けようという話、後は IC カード、図書館ネットワーク等が話題に挙がっていました。そうした時期に相談を受けてアドバイスしたひとつが、佐賀市の市立図書館です。佐賀市の職員さんが総務省に来られたので、「それなら情報化のプロジェクトで行うと有利な地方債が活用されるから、とても節約になりますよ。」というお話しをしました。その地方債を活用して佐賀市立図書館が生まれました。他にも現在の宮崎県知事である河野さんが当時は一緒の職場にいて、山口県に基地局がある自治体衛星通信機構で衛星通信ネットワークを手掛けていました。今日来られている九州総合通信局の森局長さんは郵政省です。懐かしいですね。当時は自治省と郵政省が別々でしたが、地方自治法に基づいて地方自治体がどのような仕事をやるのかというのは国から例示を出していて、そこに情報処理とか電気通信に関する例示を自治省が入れようとしたのです。そうすると郵政省が怒りました。「それは俺たちの仕事だろう」ということで侃々諤々。当時は、各省庁でも縄張り争いが激しく、郵政省から F A X が一日 500 枚くらい、パンクするほどに来ていました。今となっては本当に不思議な話で、自治省と郵政省は同じ役所になって力を合わせて情報化を推進していますが、かつてはそのような時代もありました。「高情協」という名前からは、そうした当時の空気を思い起こします。みんなが「高度情報化、高度情報化」と言っていた頃のことです。今はどちらかと言うと、情報産業の系統が強いので、非常に歴史があるチームではないでしょうか。しかし、30 年経って環境がガラッと変わりました。そこを我々、みんなで共有しなければいけないと思います。昔のように同じ方向を向いて一つのシステムを導入するのではなく、外国人がこれだけ日本に来るようになり、色々なニーズをどう拾い上げていくべきなのか、注目されるコンテンツは何なのかというところに反応していかなければいけないし、それに対応するためには「内からの改革」が必要で、各企業も、皆が同じ勉強をして同じことを行えばいいという時代は終わり、非常に難しい時代になってきたと思います。逆に言えば、やりがいがある時代とも言えます。

先程、動画で紹介された肥前さが幕末維新博覧会についても、佐賀県の維新博は他の県と違って、映像を使ってどのようにして皆に想いを伝えるのか、どのようにして佐賀の 150 年前の空気を表現するのか、ということで一生懸命やってまいりました。これには高情協の皆様方にも、多大な御協力をいただいたと聞いております。本当にありがとうございます。

今日は、佐賀県で 20 年ぶりとなるいちごの新品種「いちごさん」の発表をしました。これから、どのようにして新しいいちごの美味しさを知ってもらうのかということがまちがいなく課題になります。これも是非、高情協の皆様のお力をお貸しいただければと思います。先だっちはアジアに一人しかいない公認サンタクロースが、佐賀が好きだということで、デンマークやカナダといった世界中から 15 人のサンタを連れて来ました。皆さん「ゾンビランドサガ」を御存じでしょうか。10 月の上旬から始まったアニメですが、佐賀県が舞台になっています。子どもたちの間ではすごく話題になっているアニメです。佐賀の女の子が交通事故で亡くなってしまうのですが、ゾンビ

になって復活し、新たなスターを目指すというものです。ぜひ御覧になってください。

更に今、佐賀県は様々な話題で満ち溢れているような状況です。11月には北海道知事と札幌市長とで、島義勇像の除幕式を行います。銅像が佐賀城を囲むお堀端に建立され、すぐ横の交差点も島義勇像前という名称の交差点になります。これまでの郵便局前、警察署前、県庁前という一般的な交差点名を変えて、歴史の感じられる街並みを今から少しずつ演出していこうという試みの一つです。そうした古き良きものを大事にするところと、しっかりと新しい情報産業、ICTなどの力などを使いながらやっていくというところのコンビネーションが問われる時代です。これから高情協の役割も更に大きくなっていくことでしょう。千差万別の取組の中で、皆様が互いに協調できるところも種々出てくると思いますので、高情協の今後の取組に是非期待をさせていただきたいと思います。

昨日、街を歩いていて、外国のお客さんに対応できている店と、そうでない店とが顕著になってきています。消費税が10%に上がろうとしています、軽減するかどうかで議論になっています。そういうところをどう解決していくか、皆さんの出番でもあります。社会の使命というものにどう対応するのか、ということそれぞれ皆様方もお考えいただいているところだと思いますし、県としても、そうした動きをしっかりと応援していきたいと思っています。

話は尽きませんので、この辺りで一段落としたいと思いますけれども、私の高情協の皆様への期待の大きさをあらためてお伝えして、高情協30周年のお祝いのメッセージとさせていただきます。本当におめでとうございます。

高情協 30 周年に寄せて

キャリアシフト株式会社 代表取締役 森本 登志男

佐賀県高度情報化推進協議会創立 30 周年、おめでとうございます(以下、高情協と表記します。)
新元号に向けてカウントダウンに入った平成が、今年 30 年。高情協の歴史は、まさに平成と共に歩んで来た歴史です。

私自身のことを振り返ってみますと、大学卒業後、最初に総合化学メーカーに入社したのですが、途中でパソコンソフトの業界に転職しています。その転職が、平成 2 (1990) 年ですから、私が情報産業に身を投じたのとはほぼ同じ時期の創立ということも、今回あらためて知ることとなりました。平成 23 (2011) 年度から平成 27 (2015) 年度まで 5 年間、会長を務めさせていただいたにもかかわらず、それを意識したことはありませんでした。

平成の初期といえば、パソコンの出荷台数よりも、ワープロ専用機の出荷台数の方が多かった時期でした。パソコンは年に 2 ~ 3 回モデルチェンジが行われ、モデルチェンジの度に価格性能比が大きく向上していました。が、ハードもソフトもまだまだ値段が高いうえに、周辺機器の接続やソフトをインストールするごとに、それらの設定を自分で書き込む必要もあり、「マニアの持ち物」という印象が強い商品でした。

そこからの 30 年間、パソコンをはじめとする情報機器は圧倒的なスピードで社会に浸透したことは、これをお読みの皆さんも実感しているところだろうと思います。

私が佐賀県庁に最高情報統括監(CIO)として赴任した平成 23 年ごろからは、タブレット端末やスマートフォンがさらに速い速度で社会の隅々にまで浸透し、情報技術の普及と活用という意味では、都会と田舎の差が縮まっていき、インターネットの利用がとても広い世代に行きわたりました。

行政的な観点からみると、この時期は、人が住んでいる場所で高速インターネットが利用できないところを無くしていくという情報インフラ整備の最終段階でしたが、佐賀県は世帯カバー率が他の都道府県に先んじてほぼ 100%に達しようという、トップランナーでした。

県や市町村、地元の企業や教育機関など産官学の様々な立場の構成員からなる高情協は、まさにこの情報インフラ整備を中心となって推進した立役者なのです。

その状況を受けて、これからはそのインフラを生かしたIT活用へと活動のメインテーマが移行する時期に、会長の大役を仰せつかりました。

地域の関連業種の団体は年に数回集まって、報告事項を交わすだけの寄り合い的なもので、活発に生産的な活動を喧々諤々行うものではないというのが一般的なイメージではないかと思えます。ところが高情協の場合は違っていました。私が最初に参加した幹事会では、前の年度から継続して取り組んでいるテーマがあり、20 人ほどの幹事がそれぞれ積極的な発言をし、提案やその後の行動について具体的な話が展開していきました。

こうした幹事会は年に 4、5 回開催されますが、常に議論百出で当初設定していた時間を使い切るだけではならず、(私から提案したということでもあるのですが)テーマごとの分科会にて少ないメンバーにより次の幹事会までに提案を具体化するという、まさに佐賀県の情報化を具体的に推進していくための活動をする団体でした。

私が県のCIOとして推進した、「県庁が行う様々な行政施策に、情報技術を組み込むことで、

その効果を最大化し、コストを下げていく」というミッションは、県庁のチームの働きによるだけでなく、高情協の存在があればこそ実現できたといっても過言ではありません。

平成 28 (2016) 年 3 月に、佐賀県での 5 年間の任期を終えて、全国の様々な場所で地域の課題解決をしています。行く先々で佐賀県の情報政策の先進性は認知されており、目標とされていることを実感します。それぞれの地域で実務として取り組ませていただく機会も多いのですが、佐賀県と同レベルまで持っていくには、まだ数年かかるなということも多く経験しています。佐賀県を離れて、他の地域で仕事をしてみて、あらためて佐賀県の先進性を実感するとともに、その先進性を支える一つの大きな要因がこの高情協であるということも再認識させられています。

平成から新しい元号へ、時代が変わろうとしている今、また新たな技術領域への展望が開けてきています。これまで以上に情報技術が社会や生活のありようを大きく変えていきそうな状況ですが、この後の時代でも、佐賀県が全国に先駆けてその先進性を発揮して、より良い社会の実現に向けた情報技術の利活用を推進していけるよう、高情協の役割はさらに大きくなると思います。

佐賀県高度情報推進協議会の益々の活躍と、そこから導かれる佐賀県の先進的な取組が、今後の日本社会のトップランナーとして（これまでと同様に）先導していくことに期待しています。

佐賀県高度情報化推進協議会（以下、高情協と記載します。）の創立 30 周年をお祝い申し上げます。

私は平成 18 年度途中より、NPO 法人 Net Com さが (<http://www.netcom.gr.jp/>) を代表して高情協に新規加盟し、さらに平成 25 年度より幹事会座長を務めました。私が所属した Net Com さがも、当時は通信基盤の側面から地域情報化を推進する団体だったのですが、佐賀県内情報化に関しては"小異を捨てて大同に就くべき"との考えで高情協への合流を決意しました。

30 年前と比べ、情報化（特にインターネット関連）は長足の進歩を遂げました。しかし、私自身は、情報化の進歩は端緒についたばかりだと思っています。かのスティーブ・ジョブズも「イノベーションは、廊下での立ち話や、夜 10 時半に新しいアイデアを伝える電話、またはある問題についての今までの考えに穴を開けるような気づきから生まれる」と言っています。どのような分野においても、人の営みが続く限り革新は生まれ続けます。

テクノロジーの絶え間ない進歩に伴い、地域情報化のあり方も大きく変化しています。黎明期においては普及啓発や利用促進が地域情報化活動の中心的課題でしたが、誰もが普通にインターネットを使う現在においては、課題は当然異なります。

数年周期で高情協の「存在価値」が議論されます。存在価値とは、"地域情報化活動のあるべき姿"と換言できます。

地域情報化活動のあるべき姿とは何でしょう？情報化の進展が歩みを止めない限り、情報化を取り巻く"課題"も数限りなく発生しつづけます。私は、それら課題を解決するための緒（いとぐち）を提示するのが今後の高情協の役割であろうと、かつての地域情報化活動を通じて感じています。それゆえに、幹事会をはじめとした会員各位の不断の努力を期待します。

時は過ぎて人も変わりますが、将来にわたって、高情協が常に県民目線で地域情報化を熟慮する存続可能な唯一無二の組織であらんことを強く願っています。

設立の計画段階から設立、運営に携わりましたが、設立後 30 年も存続するとは思いません、大変感慨深く、携わった数々の事業が思い起こされます。

設立当時を振り返って見ますと、昭和 60 年頃の日本は、国際化、高齢化、情報化の 3 化（バケ）時代と言われていましたが、国では郵政省のテレピア構想、通商産業省のニューメディア・コミュニティ構想、農林水産省のグリーントピア構想等の地域情報化構想が打ち出され、全国各地の自治体が競って実情に合った地域情報化に取り組まれていました。特に九州は熱心で、大分県、熊本県は全国的な先進県となっていました。一方、県内では、伊万里市がテレピア構想の指定を受けて事業に取り組み、武雄市がテレピア構想の指定申請をされた程度で、それ以外には見るべきものはなく「無いないづくしの佐賀県」といった状況でした。このままでは地域間競争に負けてしまいかねない、どういう風に県内の情報化を進めたらよいか、県企画開発室交通・情報担当課の唯一の担当者として悩むばかりでした。そうした中、或る県が情報化推進協議会を設立されていたのを知り、これだと確信したわけです。

平成元年に設立された後は、毎月のように講演会やセミナー、研修会等を開催し、翌平成 2 年には高情協メンバーが分担して市村記念体育館を借り切って「第 1 回さが地域情報化展」を開催しました。平成 3 年には武雄市で「第 2 回さが地域情報化展」を開催すると同時に、全国の地域情報化関係者、県内の全市町村長が参加する「全国ニューメディア祭佐賀大会」を郵政省と共同して開催しました。県レベルの大会としては全国初のイベントでした。こうした活動などが評価され、平成 6 年 10 月の情報化月間において郵政大臣から情報化の推進に貢献したとして都道府県で初めて表彰されました。この頃になると、県担当者も増え、民間や国の関係者との交流も頻繁に行われていました。もはや一人では無く、「無いないづくしの佐賀県」どころか全国的な先進県と評価されるまでになっていました。また平成 19 年 4 月に情報・業務改革課長に就き、事務局長を務めた頃は、幹事会で県情報化ビジョン策定にかかる検討等を毎回 3 時間、4 時間と議論していたこと等が思い出されます。設立当時の状況を思うと考えられないほどの進展は、高情協がなければ出来なかったことでした。

これまで高情協を支えられた歴代の事務局担当者、会長、幹事等の役員、事業・活動に参加・協力していただいた関係の皆様方に深く敬意を表するとともに、心から感謝申し上げます。

これから 5 年後、10 年後頃から日本は、人口減少、少子高齢化が急速に進行することは避けられません。佐賀県の出生数はここ 20 年で約 24%も減少しています。その上、多くの若者が県外に流出しているのが現状です。それが産業界で人手不足、人材確保が難しいといった現象として現れています。次世代を支える若年層の減少は地域社会の活力の低下を招きます。地域によっては、生活に必要な各種サービス等を維持できる人口規模を下回り、買物する店が無くなり、また医療、金融、教育、郵便等のサービスが受けられない、更には税の減収等によって行政サービスの低下等、地域社会に深刻な問題が生じることとなります。北海道夕張市では、財政破綻し、債務返済が要因ですが、市民税の増税や公共料金を値上げする一方、小中学校などの公共施設は次々に閉鎖せざるを得ず、老朽化した市営住宅の維持も難しくなった上、人口流出する「負のスパイラル」に陥るなど、厳しい現実が続いています。数年前に大きな話題となった地方消滅が現実と

なってしまう地域が出てくるでしょう。コンパクトシティなどの対応を計画的に進めること等も必要になってくるでしょう。

他方、日本国内だけを見ては気づかないと思いますが、日本が失われた 20 年、30 年と言われ停滞している間に、ASEAN 等の新興国は人口の増加と急速な経済発展によって、便利な社会、行政サービスの高度化等が進んでいます。今後、世界的に第 4 次産業革命が進行し、産業、社会、行政、生活のあらゆる面で大きく変化していくものと予想されています。幕末、明治初期の佐賀藩のように「グローバルに考え、ローカルに実行する」ことが求められます。

こうした大きく変化していく時代に、県民生活の糧となる地域産業をどうやって維持していくのか、地域社会、県民生活をどう守っていくのかなどが問われるでしょう。それらの課題に的確に対応するには県や市町、企業等、一部の機関だけではできないと思います。改めて高情協の存在、役割が期待されます。

今後、高情協の活動・事業内容は変わっていくでしょうが、これまで以上に多くの関係者が参集し、連携・協働するなどして佐賀県という地域社会、県民の生活が守られるよう続くことを切に願っています。

〔事務局〕佐賀県総務部情報課情報化推進室内
〒840-8570 佐賀市城内一丁目1番59号
T E L 0952-25-7086
F A X 0952-25-7299
H P <https://www.sagakojokyo.jp/>
E-mail ship@sunny.ocn.ne.jp